

## 第17回 かたの環境を考える委員会の記録

- ・日時：2011年6月7日（火） 18:30～21:30
- ・場所：交野市役所 別館3階中会議室
- ・テーマ：〔問題点から課題へ〕

第17回委員会の進行・内容は以下のとおりです。

18:35 交野市環境保全課課長より開会の挨拶。

18:35 全体ガイダンス（環境市民事務局長 堀孝弘）

- ・ 本日の流れ

各グループで、他グループにも重なる問題を探す  
全体共有

各グループでの話し合いの続き（問題から課題へ）

- ・ 全体のロードマップと今の段階の説明
- ・ 問題を課題に置き換える意味について

思いつきで始めた活動は、うまく行かないときぼやき

（問題）に戻る。ここでは、問題を課題に置き換えた上で、プロジェクトを行う。こうすると、うまく行かないときに戻るのは問題（ぼやき）ではなく、課題（やる気）になり、また課題から出発することになる。

- ・ 中間発表会は以下の候補がある

1 1月19日（土）：ゆうゆうセンター交流ホール

1 1月23日（水・祝）：市役所別館中会議場

1 1月26日（土）：市役所別館中会議場

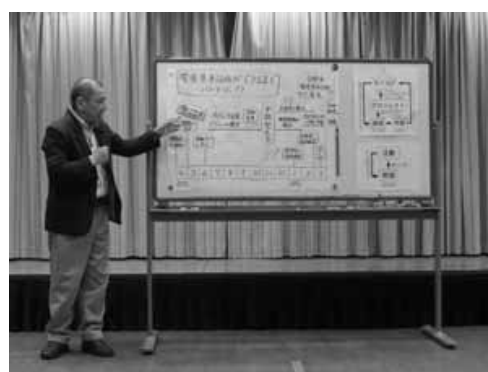
1 2月 4日（日）：ゆうゆうセンター交流ホール、多目的ホール

18:50 各グループで、他グループにも重なる問題を探す

19:23 全体共有

### 【エネルギー】

- ・ 自動車にたよった生活：まちづくり or エコ生活へ
- ・ 自動販売機：エコ生活へ
- ・ 24時間営業の店：エコ生活へ



- ・食べ物エネルギー：エコ生活へ

#### 【エコ生活】

- ・農地と土地の利用：まちづくりへ
- ・24時間営業：まちづくりへ
- ・自動車に頼らない交通：まちづくりへ
- ・新エネ、省エネ：エネルギーへ
- ・キャンプ地でお客さんが出したゴミ：据え置きへ

#### 【自然環境】

- ・天野川沿いに歩ける歩道がない：まちづくりへ
- ・天野川遊歩道に犬のフンを放置する人がいる：まちづくりへ
- ・楽しめる川がない：まちづくりへ
- ・川辺に降りることが難しい：まちづくりへ
- ・農地の後継者が少ない：まちづくりへ
- ・市民農園が農協になって価格アップでなにもしてくれない：まちづくりへ

#### 【まちづくり】

「まちづくりは全体的なことはできるけど、細かなことは各グループにお任せしたい」

「他のグループに渡す問題については、もう少し整理の時間がほしい」

#### （堀コメント）

まちづくりに集中しつつあるが、まち全体に関わることがまちづくりである。

例えば、自動車の利用が多いという問題のとき、

- ・個人が自動車に乗る ライフスタイル
- ・公共交通や自転車に乗りやすいようにする まちづくり

以上のように課題の見つけ方によって異なる。どこに着目したいか

#### （全体話し合いの結果）

今は、各グループの分野にまたがる問題があるという認識を共有だけして進めていき、あるときに合同して考えようということになった。

19：47 グループ話し合い（問題から課題へ）

21：10 各グループ発表

#### 【エネルギー】

これまでの7つ+省エネの8つに問題を絞り込んだ

課題は以下の2つに集約された。

- ・「自然エネルギーを普及しよう」
- ・「省エネを進めよう」

その後プロジェクトとしてどんなことをやりたいかを書いて発表した。

#### 【まちづくり】

2つの問題を課題に置き換えた

(問題) 観光資源がいかされていない

(課題) 環境を大切に考えた観光をもっと活発にし環境のまちづくりに  
つなげていこう(観光資源のなかに農地、景観資源も含めて考える)

解決できること: まちのにぎわい、人と人とのコミュニケーション、  
地域への経済効果、人を活かすこと

(問題) 公共交通(バス)の利便性が低い

(課題) 住民が主体になって、乗りたいバスにしてゆく。乗りやすいバスにする。

解決できること: 車に依存しすぎない、交通弱者をなくす、赤字削減

その他の問題については継続審議とする

#### 【エコ生活】

問題点を5つに絞った

- ・ライフスタイルがエコスタイルになっていない。
- ・エコ生活がしやすいモノの売り方になっていない
- ・自動車に頼った生活をしている
- ・環境教育
- ・生ゴミ

#### 【自然環境保全】

2つに問題を集約した。

- ・山が荒れている
- ・川が豊かでない

これから、理想の山、理想の川を考えることを通じて、課題を見つけ出していく。

連絡事項 次回は6月20日(月) (21:22終了)

## 各グループの話し合いの詳細

### エネルギーグループ

前回の第16回会議(5/16)で、交野市におけるエネルギーの「重要な問題」を7つに絞り込んだ(番号は整理上のもの。優先順位ではない)。

- 1 自動車に頼った生活が当たり前になった。  
(自転車ですりにくい 低公害車が普及していない)
- 2 自然エネルギーが普及していない
- 3 地球温暖化問題についてよく知られていない  
エネルギーの枯渇について関心がない
- 4 ESCO 事業のメリットが知られていない  
企業の省エネの取り組みが知られていない
- 5 電気を使う自動販売機が増えた
- 6 24時間営業の店が増えた
- 7 たくさんのエネルギーを使った食べものを食べている



今回は、これら7つの問題のうち、解決改善が必要なものを「自分たちの課題」として設定し、合意を得るための議論をすすめた。結果、エネルギーグループでは「自然エネルギーを普及させよう」と「省エネをすすめよう」の2つを課題として設定することで合意を得た。「省エネをすすめよう」は上記問題の1および4から7をまとめた課題として設定した。

課題設定の後、プロジェクト立案に向けて、グループ各メンバーが、取り組んでいること、取り組みたいことを出し合った。それをもとに次回プロジェクト立案の作業に入っていく。

### 第17回(6/7)、エネルギーグループとして設定した「交野のエネルギーの課題」

- 1 自然エネルギーを普及させよう
- 2 省エネをすすめよう

### エコ生活グループ

第15回、第16回で、交野市における暮らしの中の環境問題を洗い出し、第17回で他のグループで取り組んでいただきたいポイントを除いた後、以下の5つに絞り込んだ。

- 1) 生ごみの出し方、利用の仕方  
(生ごみが利用されていない、生ごみの出し方が悪い)
- 2) 自動車に頼った暮らしになっている

(インフラ面ではなく、意識・習慣への働きかけからアプローチするイメージ)

3) ライフスタイルが「エコ」ライフスタイルになっていない

(このポイントにさまざまな生活の中での環境問題を集約)

4) 環境教育を学ぶ場・学んだことを行動に移す場がない

5) エコ生活がしやすいモノの売り方になっていない

なお、「大量消費大量生産の意識になっている」の項目が抜け落ちていたので、次回に確認する予定。

問題	重要度
省エネ、環境問題等何が正しいか分からない	高
環境とくらしに関する講座がない(エコライフ講座)	高
環境問題を体験するところがない	高
グリーンコンシューマー学習の場がない	高
学んだことを活かして行動する場・仕組みがない	高
環境活動していない人がある	高
学んだ人が伝えていく場がない	高
環境活動をする若い人が少ない	高
自動車に頼った暮らしになっている	高
エアコンを使いすぎる	高
国民 総エアコン病(エアコンがない場所が少ない、がまんより快適に、価値観が)	高
電気使いすぎる(テレビ一人に一台、一家に一台)	高
電気の使い過ぎ(生活している人への負荷は電気代だけなので節電がすまない)	高
個別にテレビをみたり、照明を使っているのでエネルギーが無駄になっている	高
必要以上にテレビ、ビデオ、DVDを個人で楽しむ時間が多すぎる	高
おもちゃを買い与えすぎ	高
家族そろって食卓を囲まない(個食、孤食、外食、エネルギー、健康に害)	高
夜型生活	高
お日様の生活ができない(朝寝坊、生活習慣、病気)	高
省エネの取り組みに男性の協力が少ない	高
エコ生活はけちくさいと思っている人が多い	高
一人ぐらいやっても無駄と思っている人が多い	高
ウチは無理と思っている人が多い	高
生活が自然と離れている(化学物質をつかっている人が多い)	高
植物の知識がない(薬草など)	高
電気の供給量をあげないですむ(産業、流通、生活を考える、実行する、機会が少)	高
各家庭での菜園の取り組みが不十分	高
食) 食に対するエネルギー使用量が多い(遠方のもの、化学肥料)	高
食) 旬を知らない産地(原産地)を気にしない	高
食) 口に入る食べ物についてその生産場所を知らない	高
食) 農薬などのしよようで生態多様性・人体への影響	高
生ゴミが利用されていない	高
生ゴミがそのまま捨てられていて、利用されていない	高
生ごみのたい肥化は、個人で行くと挫折するので、プラントを作ってほしい	高
生ごみプラントがない	高
ごみを減らす仕組みができていない(生ゴミ・容器包装・粗大ごみ)	高
使い捨て商品が多い	高
使い捨てされるものが多い(大量生産・大量消費・大量廃棄)	高
まだ使えるものが捨てられている(家具・衣類・家電etc.)	高
安価な便利グッズが増えたが、壊れやすく、結局ゴミが増える	高
必要な量を賣えない(少量販売していない)	高
市内(国内でも)量り売りが少ない	高
エコと称して新製品を買う、かわされる	高
新品を買う方が安く設定されている	高
修理修繕がづらい	高
内容、種類が多すぎる	高
必要性を考えてモノを買っていない	高
必要以上に買い過ぎ	高
分別ごみを出すことでエコ生活をしていると思っている人が多い	高
リサイクルが美德になっている	高
農地を耕す人が少ない	高
土地の売買使用に当事者以外が関われない	高
農地保全のための仕組み(手段)がない	高
れんげの活用	高
農地が利用されていない	高
観光農場がない	高

## まちづくりグループ

### 1. 問題の整理

これまでまちづくりグループで出されている問題を確認し、まちづくりグループの問題として上げたが、他のグループで考えたほうがいいと思われるものについて議論した。

< 結論 >

- ・「里山の荒廃が進んで来ている」は、自然グループで考えてもらう、あるいは一緒に考える。
- ・「自然の資源が活かされていない」は、まちづくりグループで考える。

( 注 この結果は全体共有の際に発言されていない )

他のグループから依頼された問題の検討

< 結論 > 現在、まちづくりグループで考えている問題でほぼ網羅できている。

### 2. 問題を課題に置き換える

< 今回の議論 >

- ・「コミュニケーションを深める場づくり、人づくり、人と人とのつながり」は、全ての問題や課題に共通するので、単独で考えるのではなく、他の課題といっしょに考えることとする。
- ・「資源が活かされていない」について、具体的な資源を「観光資源」として課題にする。
- ・交野に住みたい、住み続けたい。環境の視点から、住み続けられるまちとは？

課題に置き換えた問題

(問題) 観光資源が活かされていない

(課題) 環境を大切に考えた観光をもっと活発にし

環境のまちづくりにつなげていこう

(観光資源のなかに農地、景観資源も含めて考える)

解決できること：まちのにぎわい、人と人とのコミュニケーション、  
地域への経済効果、人を活かすこと

(問題) 公共交通(バス)の利便性が低い

(課題) 住民が主体になって、乗りたいバスにしてゆく。

乗りやすいバスにする。

解決できること：車に依存しすぎない、交通弱者をなくす、赤字削減

課題に置き換える作業が必要な問題

- ・ 自転車で安全に走れる道が非常に少ない

継続議論が必要な問題

- ・ 防犯：街が暗い。車上荒らし増加、変質者が多い
- ・ 防災：実生活に即した防災対策ができていない
- ・ 金がない、産業がない
- ・ 農業が衰退している（産業としての農業）

### 3. まちグループが大切にしたい視点

- ・ 何か思いを持っていても参加までにはいたらない人もいる。その人たちが少しでもその気になるような仕掛け、巻き込み方を意識する。（交野の地域らしいまちづくり、声をかける、関心あることからのアプローチ）
- ・ 世代によって関われるものが違う。関われる段階（深度）が違うことを認識しておく。
- ・ 環境の切り口を常に意識する。

### 自然環境保全グループ

第16回会議で問題の重要度と緊急度を整理し、今回はそれを検証して取り組むべき問題を選び出した。

#### 1. 他のグループで話し合うにふさわしい問題を考える

（結論）以下の5つの点が挙げられ、すべてまちづくりグループへ移譲をすることに。

- ・ 歩ける歩道がない ・ 楽しめる川がない ・ 川に降りることが難しい
- ・ 天の川遊歩道に犬のフンを放置する人がいる ・ 農地の後継者が少ない
- ・ 市民農園のサービス低下

#### 2. ファシリテータから問題提起と今後の方針の確認

自然環境データによると川に生物が少ないようだが、優先順位が低くてもいいのか。

委員全体の認識としても少ないとのこと。川の問題に含めて考えることになった環境基本計画と「緑の基本計画」との兼ね合いはどうなるのか。

環境保全課長より、交野市緑の基本計画について説明があった。

次回に緑の基本計画をつくった担当課の方に来ていただきお話を伺うことになった問題整理の考え方

ここまでの問題をあげるまでは委員みなさんの書かれた用紙に基づいてきたが、問題を課題に置き換えて実行してゆくために、ここからはこの“自然環境保全グループとして”どう動けるかを考えるようにしよう。

誰かの考える問題 「私たちの課題」として思えるものを選ぼう。

#### 4．問題の整理

これまでとは違った見方で改めて問題を整理すると、以下の2つに集約された。

山が荒れている

- ・生物調査 ・森林整備（間伐など） ・竹林整備 ・地権者の事情を知る
- ・市民活動を進めるしくみ ・行政の施策 ・市民とつなぐ仕組み

川が豊かでない

- ・ごみ ・いきもの ・大切にす気持ち ・水量、汚れ

#### 5．ビジョンづくり

「山が荒れている」「川が豊かでない」という問題を課題に置き換えるにあたり、理想の山や川の状態を考えることになった。

##### 【理想の山】

- ・生態系の保全（主）
- ・ハイキング、森林浴（オマケ）

（交野には希少種としてシュンラン、イワナシ、ササユリ、シロバナウンゼンツツジ、シダ類などがある）

次回はこの続きからスタートし、理想の実現に向けての課題を考えていく。

以 上